

こどもきいぶ



とくしゅう
特集

ほん



たまごの本



“たまご”と聞いたら、どんなたまごを想像しますか？

おいしいたまご、大きなたまご、硬いたまご…。いろいろなたまごの本を集めました。



『まいごのたまご』(絵本)

アレックス・ラティマー / 作 聞かせ屋. けいたろう / 訳 角川書店

風が強くふいた朝に、山の上からたまごが落ちてきました。

まいごになってしまったたまごは、いろんな恐竜たちに「あなたのたまごですか？」と聞きますが…。まいごのたまごは無事に、元いた場所に帰れるのでしょうか？恐竜たちの優しさにも触られる絵本です。(幼児から)



ひらつかしてんしとしょかん
平塚市電子図書館

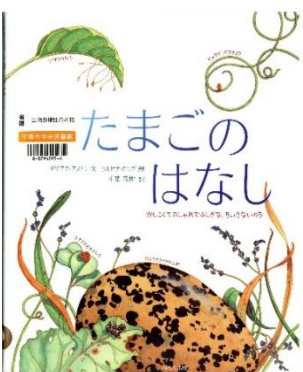
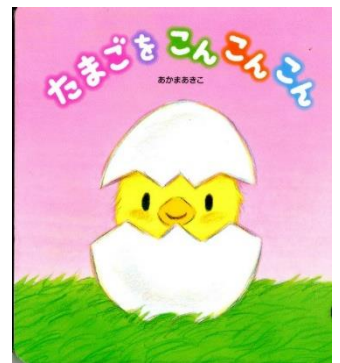
『まいごのたまご』

『たまごをこんこんこん』(絵本)

あかまあき / 作・絵 ひさかたチャイルド

「そうっと たまごを こん こん こん でておいで」

たまごをこんこんすると、だれがでてくるのかな？かわいらしい絵に心がほっこりあたたまります。赤ちゃんから楽しめる、しかけ絵本です。(幼児から)



『たまごのはなし かしこくておしゃれでふしぎな、ちいさいのち』(絵本)

ダイアナ・アストン / 文 シルビア・ロング / 絵 千葉茂樹 / 訳

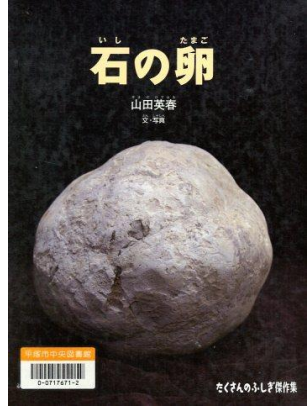
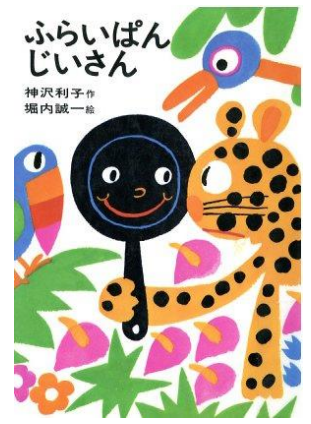
ほるぷ出版

青いたまごや やわらかいたまご。この本には、見たこともないような色、大きさ、形のたまごがたくさん出てきます。たまごって何なのか、いっしょに調べてみましょう。(1・2年生から)

『ふらいぱんじいさん』(NDC 913)

かみさわとしこ さく ほりうちせいいち え しょうぼう
神沢利子／作 堀内誠一／絵 あかね書房

あたら しいなべがや^だってきて、^{だい}好きなたまごを焼^やけなくなった ふらいぱんじい
さんは、家^{いえ}を出ることになりました。大^{おお}きなめだま焼^やきを作^{つく}るため、ジャングル
や海^{うみ}を旅^{たび}して、いろい^ぼろな冒^{ぼう}険^{けん}をしますが、たまごには出^で会^あえませ^ん。ふらい
ぱんじいさんは、たまごを焼^やくことができるで^{ねん}しょうか。(1・2年^{せい}生から)



『石の卵』(NDC 458)

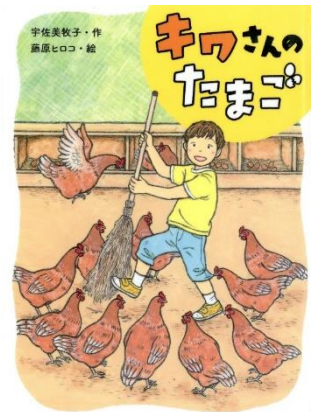
やまだひではる ぶん しゃしん ふくいんかんしょてん
山田英春／文・写真 福音館書店

「ドラゴンの卵」や「雷の卵」と呼ばれる石があります。石の卵は、大昔の
海^{うみ}の底^{そこ}や、火^か山^{ざん}が噴^{ふん}火^かした時^{とき}にあ^いふれ出^でた溶^{よう}岩^{がん}の中^{なか}で生^いまれま^す。石の卵^{いし たまご}を
割^わってみると、結^け晶^{しょう}などによ^り、ふしぎな模^も様^{よう}が出^でてくること^がありま^す。この
本^{ほん}では、うつく^{しい}いし たまご^を、た^くさ^んの写^{しゃ}真^{しん}で紹^{しょう}介^{かい}していま^す。(3・4年^{せい}生から)

『キワさんのたまご』(NDC 913)

うさみまきこ さく ふじわら え しゃ
宇佐美牧子／作 藤原ヒロコ／絵 ポプラ社

つまらないと思^{おも}っていた夏^{なつ}休^{やす}み、サトシは養^{よう}鶏^{けい}を営^いむキワさんに出^で会^あいます。
弁^{べん}当^{とう}屋^やをやっ^りてい^る両^{りょう}親^{しん}のため^に、たまご焼^やき作^{つく}り^を計^{けい}画^{かく}したサトシは、まぼ
ろ^ろしのたまごを^てもら^うた^め、キワさん^の手^て伝^でい^をするよ^うにな^り…。
(3・4年^{せい}生から)



『身近な食べもののひみつ7 すがたをかえる牛乳・たまご』(NDC 596)

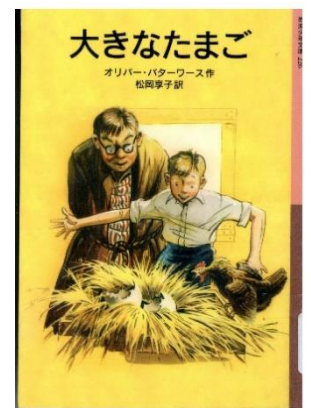
ふるかわのぼる かんしゅう じん こ かんしゅう がっけん
古川徳／監修 神みよ子／監修 学研

たまごを使^{つか}った食^たべ物^{もの}といえ^ば、プ^りン、オ^ムレ^ツなどいろい^ろありま^すね。
この本^{ほん}を^よむと、たまごから^たでき^てい^る食^たべ物^{もの}にど^んな^{もの}が^あるか、たま
ごが^どう^やっ^て私^{わたし}たち^のも^とに届^{とど}け^られるか^などが^わかりま^す。中^{なか}には「こ
の食^たべ物^{もの}も^たまご^から^でき^てい^るの？」^と思^{おも}う^{もの}が^あるか^もし^れませ^んよ。
(5・6年^{せい}生から)

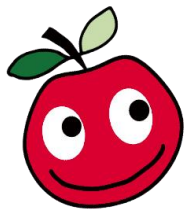
『大きなたまご』(NDC 933)

さく まつおかきょうこ やく いわなみしょてん
オリバー・バターワース／作 松岡享子／訳 岩波書店

ア^いメ^なリ^カの^い田^な舎^ま町^すに住^いむ^ネイト。家^{いえ}の^めん^どり^の卵^{たまご}から^う生^まれた^のは、^なん^と
ト^りケ^ラト^プス。夏^{なつ}休^{やす}み^中、大^{ちゆう}切^{たい}に^そだ^そで^さま^ま育^まえ^せつ^びて^ます^が、寒^{さむ}く^なる^まえ^せつ^びに^との^と
ワ^{しん}ト^ンの^{はく}博^{ぶつ}物^{かん}につ^いて^いく^こと^に。し^かし、恐^{きよう}竜^{りゆう}を^か飼^かう^こと^に反^{はん}対^{たい}する
議^ぎ員^{いん}が^あら^わて^ます。ネ^いトは^{きよう}恐^{りゆう}竜^を守^{まも}る^ので^しょう^か。(5・6年^{せい}生から)



よ 読む・き 聞く・はな 話すのポケット



「りんごの棚」ってなあに？

みなさんは「りんごの棚」を知っていますか？りんごの棚はもともとスウェーデンという国でうまれました。「すべての子どもに読書の楽しさを知ってもらうこと」を目的にはじまりました。

平塚市中央図書館でも、こども室に「りんごの棚」を作りました！

りんごの棚には、紙で印刷された本だけでなく、こんな本があります。

- 📖 目や耳で楽しむ本
- 📖 大きい文字の本
- 📖 手話で楽しむ絵本
- 📖 ぬの布でできた絵本
- 📖 てんじ点字つきの絵本
- 📖 LLブック(やさしい言葉などで、わかりやすく書かれた本)



目が見えない人や見えづらい人、紙に印刷された文字を読むことが難しい人、などにも楽しんでもらえる本です。また、文字が読みやすくなる道具もあります。(リーディングトラッカーなど)

りんごの棚は「すべての子どもに読書の楽しさを知ってもらうこと」が目的なので、障がいを持っている人も持っていない人も、だれでも使うことができます。

特に読みづらさを感じていない人でも、「本を読むのはあんまり好きじゃないけど、大きい文字の本は読みやすかった！」という声もあります。

文字が見えづらい…、読書が苦手…、文字をずっと読むのは疲れる…、という人にこそ、ぜひ来てほしい！「読書って楽しい！図書館って楽しい！」と思ってもらえるようなものをそろえて、みなさんが来てくれるのを待っています。



がっこう でんしとしょかん つか
学校のタブレットで電子図書館が使えます！



ひらつかしりつ しょうがっこう ちゅうがっこう かよ じどう せいと くぼ
 平塚市立 小学校・中学校に通う児童・生徒のみなさんに配られているタブレットで、
 ひらつかしりつ でんしとしょかん つか
 平塚市電子図書館が使えるようになりました。

じ おお おと き ほん じどうしょよ ほうだい ほん なんにん
 字を大きくしたり、音で聞いたりできる本もあります。児童書読み放題パックの本は、何人でも
 いっしょ よ えほん ずかん つか
 一緒に読むことができます。絵本や図鑑もありますよ。どうぞ使ってみてください。

ちゅうおうとしょかん しつ
中央図書館のこども室ってこんなところだポ。

き
みんな来てほしいポー。

木のテーブルやいすで
 本をよんだり、勉強で
 きます。



いろいろな本の展示を
 しています。

こども室入口のテーブル
 で本をよんだり、たべた
 り、のんだりできます。



といあわ さき
お問合せ先

中央図書館

〒254-0041
 浅間町 12-41
 Tel 0463-31-0415
 Fax 0463-31-9984

北図書館

〒254-0013
 田村 3-12-5
 Tel 0463-53-1232
 Fax 0463-53-1261

西図書館

〒254-0911
 山下 3-29-1
 Tel 0463-36-3555
 Fax 0463-36-7230

南図書館

〒254-0813
 袖ヶ浜 20-1
 Tel 0463-21-3080
 Fax 0463-21-5181